

# 統計アラカルト

熊本の統計情報

令和3年3月30日

県民の皆様には統計を身近に感じていただくためのページです。

随時、色々な統計に関する話題・データを紹介します。

## 令和2年国勢調査について

令和2年国勢調査へご協力をいただきありがとうございました。本県における調査は、令和2年7月豪雨の影響で、球磨村及び人吉市で実施が延長されていましたが、すべて終了しました。

国勢調査は我が国に住んでいる全ての人と世帯を対象とする国の最も基本的で重要な統計調査で、我が国の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として5年ごとに実施されています。調査結果は、国や地方公共団体における各種の行政施策を立案するための基礎資料として用いられるほか、国民の共有財産として、研究・教育活動、経済活動などの幅広い分野で利用されています。

それでは、国勢調査の結果でなにがわかるのでしょうか。平成17年国勢調査から平成27年国勢調査までの数字を比較して、いくつかの事例を見ていきましょう。

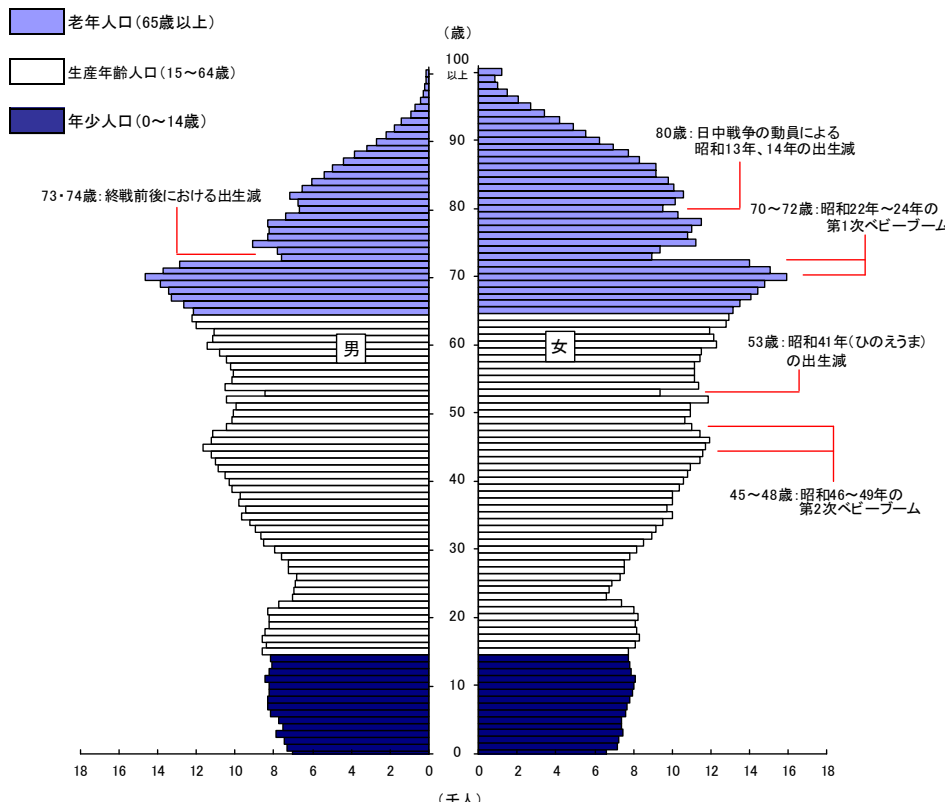
### 1. 人口の動きがわかる

人口および人口の増減数がわかります。前回調査である「平成27年国勢調査」と「平成22年国勢調査」の調査結果を比較すると、10月1日現在の熊本県の人口は 31,256 人減少しています。ちなみに、県では、国勢調査時の数字をもとに、毎月、熊本県推計人口をとりまとめ、公表しています。なお、初めて国勢調査(1920年)が行われた時の、本県の人口は1,233,233人で、これを平成27年の人口(1,786,170人)と比較すると約45%増加しています。

年	人口			増減数 (人)	増減率 (%)
	総数(人)	男(人)	女(人)		
H17	1,842,233	866,916	975,317		
H22	1,817,426	853,514	963,912	-24,807	-1.35
H27	1,786,170	841,046	945,124	-31,256	-1.72

### 2. 人口ピラミッドがわかる

人口の年齢構成の変化を、人口ピラミッドの形で表すことができます。(下記は令和元年10月1日現在のもの)



### 3. 年齢3区分別の人口がわかる

年齢3区分別の人口により、「年少人口(0～14歳)」、「生産年齢人口(15～64歳)」、「老年人口(65歳以上)」がわかります。平成17、22、27年の国勢調査結果とその増減率は次のとおりです。

	年少人口(人) (0～14歳)	増減率 (%)	生産年齢人口(人) (15～64歳)	増減率 (%)	老年人口(人) (65歳以上)	増減率 (%)
平成17年	264,013		1,139,125		437,244	
平成22年	249,606	▲5.5	1,093,440	▲4.0	463,266	5.9
平成27年	241,167	▲3.4	1,024,400	▲6.3	511,484	10.4

この10年間で年少人口と生産年齢人口は減少し、老年人口は増加しています。本県の老年人口の割合は、平成27年時点で28.8%と、約4人に1人が65歳以上となっています。

### 4. 外国人数がわかる

県内の外国人数は、年々増加しています。

	外国人数	増減率 (%)
平成17年	6,651	
平成22年	7,624	14.6
平成27年	8,358	9.6

### 5. 婚姻の状況がわかる

県内の未婚率は、ほぼ横ばいで推移しています。

	人口(25歳から34歳)	未婚者数(25～34歳)	未婚率(%)
平成17年	216,956	102,724	47.3
平成22年	200,802	96,673	48.1
平成27年	181,094	87,251	48.2

以上、国勢調査からわかる数字をいくつかご紹介しました。今回の調査結果の公表スケジュールですが、現在、総務省統計局で調査票の集計が行われており、令和3年6月に「人口速報集計」が、また同年11月に「人口等基本集計」が公表される予定です。インターネットの「政府統計の総合窓口(e-Stat)」で閲覧が可能となりますので、お仕事や勉強にお役立ていただければ幸いです。

問合せ先: 熊本県企画振興部統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp